



### サロンがつなぐ友情の輪

## 郵便局でぬくもり絵はがき展 福井市

福井志比口郵便局で「ぬくもり絵はがき個展」と題した絵手紙展が開かれています。作者は福井市志比口2丁目の高田喜久子さん(91)。富山で暮らしていたころに、郵便局の体験会に参加したのがきっかけで出会った絵手紙を、近所に住む友人の野阪ふみ子さん(77)に10年に渡って送り続けてきたものだ。その時々季節感あふれる題材に、近況報告や体調を気遣う言葉を添えた絵手紙からは、友人を思う気持ちが伝わってくる。野阪さんが「折角もらった心温まる絵手紙。自分だけでなくたくさんの人にも見てほしい」と郵便局に相談し、この作品展が実現したそうだ。

野阪さんは自宅でクリーニングの取次店「黒川クリーニング志比口店」を半世紀に渡って営んできた。20年

前、高田さんが富山県から福井に転居してきて顧客として店を訪れたのが縁で交流が始まった。コロナ禍の影響がクリーニング業界にも及び、人と人のつながりが極端に希薄になりかけた時、「商売はさておき、人と人のつながりを大切にしたい」と、5〜6人が座れるテーブルといすを店に置いて、くつろいでおしゃべりを楽しめるサロンのような空間を作りあげた。気の置けない仲間たちとランチやお花見に出かけ、記念日のお祝い会なども開催。人生を楽しみ、励まし合う心のよりどころ的なサロンとなっている。脊柱管狭窄症の手術をしたり、圧迫骨折をしたりと、近年は身体の不調もある高田さんだが、スマートフォンを使いこなし近所へ

はりハビリを兼ねて「健康のために歩く」ことを心がけているという。週一回のデイサービスも「世話になるより世話をすることが多い」と笑い、「この年でちゃびちゃびして(※)」と時折混じる富山弁でいたずらっぽく笑う。高齢での転居の不安を笑顔に変えたのは、友人たちとのつながりも大きい。展示された作品を見て「描いた時の気持ちを感じている」と懐かしそうに話す傍らで、ともに作品を見つめる野阪さん。二人の交流が郵便



高田喜久子さん(左)と野阪ふみ子さん(右)＝福井志比口郵便局で

局を訪れる人の心も温めてくれている。高田さんの「ぬくもり絵はがき個展」は5月末まで開かれる予定だ。

※富山弁の「ちゃびちゃびして」は「でしゃばる」や「お調子者」の意味で好奇心旺盛な様子を表す方言



### 浅藤牧場直営

## はんすう 道の駅みくに店 坂井市

「道の駅みくに」の敷地内にあるソフトクリーム店「はんすう」は、三国町池上にある「浅藤牧場」の直営店だ。牧場で搾乳した新鮮な生乳を使ったソフトクリームは、甘さ控えめでミルクの濃厚な味わいが広がり、その後はふわっと滑らかに溶けていく。

ソフトクリーム製造機には、「ソフトクリーム界のフェラーリ」と呼ばれるイタリアのカルピジャーニ社製のこだわりのマシンを使用。素材と設備の両面からおいしさを追求しているからこそ生まれる、人気の味わいだ。

こだわり抜いた材料とマシンが生み出すソフトクリームは評判が高く、リピーターも多い。老若男女が絶え間なく買い求める大人気の店だ。

季節限定ソフトの「はっさくソフト」と「さつまいも金世界」は、地元産の素材を贅沢に使った、旬の味わいを楽しめる一品だ

ミルクソフトはカップとコーンから選べ、サイズもミニをはじめ、さまざまに用意されている。トッピングはキャラメルなどのソース類に加え、ブルーベリーなどの果実ソース、三里浜オリーブオイルといった変わり種も楽しめる

**プレセント**

自由にごさす牛たち。足腰の強化やストレス軽減に繋がる

「ガンジー牛の「みっちゃん」」

**はんすう**

●坂井市三国町山岸67-3-1 (道の駅みくに敷地内)

●090-4489-0083

●4月～10月 午前10時～午後5時

11月～3月 午前10時～午後3時

※4月～10月は無休

※11月～3月は火・水曜日が休み

## 今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

- 応募方法** ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号 ③現在購読の新聞名 ④さんぽみちへのご意見・ご感想 ⑤読者からのお便りコーナー、テーマ「結婚式」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

■はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぽみち5月号プレゼント」係

■メール osanpo@fukui.koho-c.co.jp

■LINE ID: @059fzwww

■ホームページ 投稿フォームから

※応募の際は「さんぽみちプレゼント係」と入力して下さい

<p><b>A</b> レインボーライン山頂公園入園券 (ペア) <b>10人</b></p> <p><b>C</b> ハーブガーデン空のテラスハーブティー (6g入り) <b>5人</b></p> <p><b>E</b> はんすう道の駅みくに店 ミルクソフトレギュラーサイズ1つ引換券 (カップかコーンお好みで) <b>10人</b></p>	<p><b>B</b> Rose Cafe 風のガーデンローズティー引換券 <b>5人</b></p> <p><b>D</b> sou's coffee roastery コーヒードリップバック引換券 <b>3人</b></p>
--	--

締め切りは5月20日(水)必着  
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

**スタッフ日記** さわやかな季節になりました。5月は、新ジャガイモや新タマネギなど「新もの」の野菜がいちばんおいしい時期です。サクランボやメロンが店頭にも並び始め、カツオ、サワラ、メバルといった魚も旬を迎えます。食べることが大好きな筆者にとって、まさに1年で最も楽しみな季節です。新緑の美しさ、鳥のさえずり、そして旬の味わいを詠った俳句「目に青葉 山ほととぎす 初鵬」からは、自然の色や音、そして季節の恵みが一体となって感じられます。今年は「食」だけでなく、見て、聞いて、感じて、初夏の訪れをたっぷり味わいたいと思います。

### 浅藤牧場

1958(昭和33)年創業。日本に約200頭しかないといわれる希少なガンジー牛が飼育されているのは、北陸3県ではここだけだ。

健康でストレスの少ない環境で成長できるよう、細やかに気を配っている。牛の主食となる牧草には、その年に最初に収穫され、最も栄養を蓄えている「一番草」を使用。こうした環境で育った牛から搾った生乳は、おいしいソフトクリームの原料となる。それこそが、「はんすう」のミルクソフトが人気を集める理由だ。

自由にごさす牛たち。足腰の強化やストレス軽減に繋がる

「ガンジー牛の「みっちゃん」」

●坂井市三国町池上101-42 ●0776-82-7022

## 好きなコーヒーを見つけに 古民家カフェでゆっくりと 南越前町

ゆったりと時間が流れる古民家カフェ「sou's coffee roastery (ソウズコーヒーロースタリー)」(南越前町今庄)。

店舗として使われているのは、1929(昭和4)年に建てられた築約100年の古民家。かつては八百屋として使われていた建物を、町おこしの一環としてカフェに改装し、当時の柱や建具を残したまま活用している。店内に入ると、その歴史が醸し出す重厚感が伝わってくる。

『「寄り添うこと」を大切にしています』と話すのは、温かな笑顔でお客様を迎える真千晴(みつちちはる)さん。店名の「sou's」には「添う・想・創」という意味が込められており、人の暮らしや気持ちに寄り添うコーヒーを提案しているという。

苦味や酸味などの好みは人それぞれ。そうした思いから、来店した人には好みを聞きながら、お気に入りの一杯を一緒に探してくれる。週末には複数のコーヒーを試飲でき、実際に味わいながら選べるのも魅力のひとつだ。(※混雑時など状況により実施していない場合あり)

店内ではコーヒーをきっかけにした様々な取り組みも行われている。元保育士で移住者でもあるスタッフの発案で始まった「ママカフェ」では、読み聞かせなどのワークショップを通してママ同士が気軽にコミュニケーションをとることができる。他にも、地元作家と連携してドリップバックに絵を描くワークショップを開いたり、読み終えた本を持ち寄り、店内の本と交換

できるブックボストを設置したりするなど、人と人が緩やかにつながるきっかけを生み出している。

「好みのコーヒーを探しに来ていただけたら嬉しいです」と、優しい笑顔の真さん。「今庄の穏やかに時間が流れる感じとか、静けさの中に水の音があったりとか、そういう雰囲気もこの建物の中で感じていただけたらいいなと思っています」と話す。

自分好みのコーヒーの香りに包まれながら、日常から少し離れて、人と人とのあたたかいつながりを楽しむ場。そんなカフェに、ぜひ足を運んでみては。

**プレセント**

ソウズ コーヒー ロースタリー **sou's coffee roastery**

●南越前町今庄81-11 ●080-9270-6128 ●午前10時～午後5時30分(L.O.午後5時) ●水・木曜日 ●あり

フードメニューは出来る限り手作りにこだわっている

### 母の日の雑学

**なぜ5月の第2日曜日のか… きっかけとなった出来事**

1907年、アンナ・ジャービスという女性が、亡くなった母親を追悼しようと教会で白いカーネーションを配った。この出来事がきっかけで母に感謝する日を作るという動きがアメリカ全土で広がり、1914年に5月の第2日曜日を母の日と定めた。日本に伝わったのは明治時代の終わり頃で、1937年に一般的に普及した後1947年に「5月の第2日曜日は母の日」と制定された。

**日本と異なる母の日を過ごす国**

**欧米**  
「ブレイクファスト・イン・ベッド」という、まだベッドから起き出していない母親の元へ朝食を運ぶ風習がある

**ルーマニア、ハンガリー**  
両国とも「女性の日」として祝われており、ルーマニアでは3月8日、ハンガリーでは5月の第1日曜日に、子どもからお年寄りまで女性にプレゼントが贈られる

**タイ**  
1976年から国母と称されたシリキット王太后の誕生日の8月12日と制定されていたが、逝去したことで現在は祝福する日から追悼する日となる可能性が高いとされている。「ジャスミンの花を贈る」「子どもがクラブ(両手を合わせて床にひざまずいて頭を下げる挨拶方法)をし、母親に感謝の言葉を述べる」「水色の服を着用する」などの習慣がある

**ネパール**  
4月末から5月上旬のいずれかの1日を「母の顔を見る日」として祝い、母親にスイーツやタマゴ、果物などのプレゼントを渡して感謝を伝える

**ノルウェー**  
2月の第2日曜で、世界で最も早い。特定の花をプレゼントする文化ではないが、女性が出産した次の母の日にパートナーからプレゼントを贈るのが一般的

**アルゼンチン**  
10月の第3日曜日に季節の花束やプレゼントを贈る。また、親子の間柄に関わらず、知人同士でも「母の日おめでとう!」と言いつつ花を贈る

### 簡単♥おいしいクッキング〜

「小ぶりな新じゃがにピッタリ」

## 新じゃがのカリカリクラッシュ

【材料】  
新じゃが ……………人数分      コンソメパウダー ……適量  
塩コショウ ……………少々      バター ……………10g

【作り方】  
①新じゃがはよく洗い、皮付きのままレンジで軟らかくなるまで加熱します。  
②①を、フライパンに載せ、コップの底でぎゅっとつぶします。※レンジから取り出すときは大変熱いので注意しましょう。皮の食感が気になる人はここで皮をむきましょう。  
※ジャガイモをつぶすときは、ばらばらにならないように力を加減してください。厚さの目安は元の厚さの半分程度です。  
③フライパンにバターを入れて熱し、②がカリカリになるまで中火で焼き、塩コショウとコンソメパウダーを振りかけて出来上がりです。

個人情報保護法 さんぽみちをお客さまに安心して利用していただくため、個人情報は、さほみちとお客さまの居住地の郵便局において適切に管理し、プレゼントのお届けはな行利用をさせていただきます。

### 読者からのお便りコーナー

お題は「出会い」

中学生の頃、他県の人の文通が流行っており、私も茨城県の方としばらくしてました。その後、他県の大学での入学式で、なんとその方の名前が呼ばれました。結局その方と会ったのは卒業してからですが…これが記憶に残っている出会いです。(越前市 60代 男性)

職場で出会いがなくマッチングアプリを使い始めて1カ月。良い人と出会うことができ、お付き合いを始めました!年齢的にもこれが最後の出会いであることを願います。(小浜市 30代 女性)

若い頃は電車の中で恋心を抱いたこともありましたが、淡く夢心地な思い出です。歳を重ねた今、出会いがなくなった感が否めません。(福井市 70代 男性)

仕事で会った人と話していく、話題が昔話に、「ほかの会社でよくしゃべる太った人がいた」という話をすると、相手の方が「あ、それ僕です」と…。驚いたことに、別人みたいにとっても喋っていて、良いおじさんになっていました。(大野市 60代 女性)

子どもを授かった後、子育て支援センターや保育園など、子どもを通じて色んな方と出会う機会が増えました。子育てで悩むことが多いのですが、出会った方々や日刊県民福井の新聞屋さんも相談に乗ってくださって、支えられている事に日々感謝しています!(鯖江市 40代 女性)

年齢はさまざまなのですが、料理の話や、どの病院にかかるかという話など、いろいろな話を語り合えるのが健康体操という場所です。いつも楽しみにして参加しています。(あわら市 60代 女性)

**投稿募集**  
投稿してくださった皆さま、ありがとうございます!6月といえは「ジュニアブライド」。今回のテーマは「結婚式」です。皆さんの結婚式へのおこがれや思い出などを寄せください。  
※内容を受えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

### 「あったか塾」

## 越前和紙で作る くす玉の風鈴

日時 5月16日(土) 午後1時30分～3時30分  
場所 八尾町2階の福福小屋  
参加費 1,000円  
対象 大人から子どもまでどなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)  
定員 25人(先着順)  
講師 兵 律子さん(くす玉教室講師)

これからの季節にぴったりな、涼しげでかわいい風鈴を作ってみませんか。パーツを組み合わせながら風鈴の形に仕上げしていきます。初めての人も安心して作ることができます。音色を楽しむタイプの風鈴ではありませんので、インテリアとして飾って楽しみましょう。

主催: 日刊県民福井・中日新聞社  
共催: 福井市観光物産館福福館

**問い合わせ・申し込み先**  
日刊県民福井事業グループ=☎0776-28-8618 (平日 午前10時～午後6時)

こちらのQRコードからご予約いただけます→